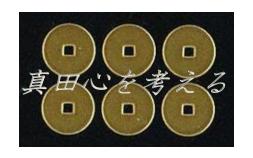
真田で楽しく! 元気に!暮らしたい人のためのフリーペーパー いきいき♪

活き活き ふるさと通信

第38号 2014年 4月 1日発行【真田地域に全戸配布】



3月1日(土)~2日(日)に、菅平高原で、「スノーボールバトル~真田冬の陣」が行われました。ゆるキャラのアルクマや上田市で活躍中の上田キャラーズも参戦してくれました。彼らは無敵キャラで玉が当たっても退場にならず、味方の壁にもなり、しかも会場を和ませていました。



第9回 真田三代の活躍

常田 軍三

二、幸隆の活躍

④ 武田信玄の信濃侵略

信玄は海野 平 の合戦 (天文 1 0 年) の直後に、父信虎を駿河の国 (今の静岡県) に追放します。子が親を国外に追放するなどという非道なことを、信玄はするわけですが、こんな理由があったからです。

「信虎は平生悪逆無道なり、国中の人民、牛馬畜類まで<u>愁</u>脳。地下人、侍、出家、老幼男女すべての追放を満足」と当時の記録に残されています。こうして信玄は、甲斐の国主の座に着きました。

父の追放後、信玄は新しい時代感覚と持ち前の行動力で、甲斐の国を発展させる政策の遂行に乗り出しました。富国強兵と民政の安定や治山治水、新田開発、検地、さらに人口の増加対策等、次々と手を打ちました。

続いて、甲斐の国是である「信濃の侵略」へと一歩を踏みだしています。

まずは、甲斐に隣接する諏訪地域への侵攻を始めました。その時諏訪一帯の領主は、諏訪上社の大祝 (神主)諏訪頼重でした。信玄は諏訪一族間の相続争いにかこつけ、国主になった翌年の天文11年 (1542年)6月、諏訪頼重の居城 上原城を急襲、頼重を拉致し、東光寺に幽閉のうえ自害させました。こうして諏訪は信玄の信濃侵略の前進基地になりました。

(次号に続く)

め 渋沢温泉 め

天然温泉・源泉かけ流し

体のとても温まる温泉です 是非1度お越しください 上田市真田町長1317-6 20268-72-3224 定休日 水曜日 手作りの美味しさとよろこびを体験してみませんか? パン、ケーキ、和菓子、イタリア家庭料理 体験レッスン実施中 (詳細はお問い合わせください)

恵美子クッキングスタジオ

http://emikocookingstudio.jp/ 本原小より550m車で2分 電話:72-2488

遥か昔の歴史遺産を尋ねて

柳沢 邦男

今回は、以前新聞で紹介されました「氷 平の風穴」を紹介させていただきます。

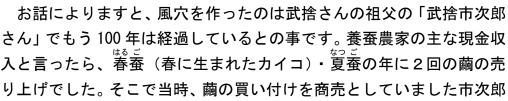
風穴は、今の時代では確かに珍しく貴重な存在でしたが、地元ではその存在をご存じの方が、 意外と多くて驚きました。

それもそのはず、地元の傍陽中組はその昔養蚕農家が多く、堤 地籍は特に養蚕が盛んな地籍でした。言い換えると、かなり風穴 のお世話になったそうです。

ところで、何故ここで風穴をご紹介すると申しますと、稚児岩の取材で武捨さんのお宅に伺いました時、珍しい写真を発見しました。それはまさしく風穴の完成を祝う記念写真でした。



そして稚児岩のお話とは別に武捨直江 さんが「自分の知っている範囲は」と前置 きをして風穴について語り始めました。



さんは、蚕種 (カイコの卵) の成長を遅らせてもう一回多く繭が出来たらと思い風穴を作ったそうです。そして秋蚕が誕生しました。今の時代は合理的にできますが、その当時としたら画期的な方法だったと思います。

そして武捨さんは、さらにお話を続けてくださいました。それは風穴に蚕種を運ぶ為、上田駅から馬車を用意して定期的に運んだそうです。

お話をお聞きして感じたことは、武捨市次郎さんという方は、すごい財力と素晴らしい発想の持ち主だったようです。

後日我々取材班は、実際に風穴を見たいと思い、 山中に行きました。その場所は堤入り山中で、通称 「白石林道」と呼ばれる林道を上り、尾根を越せば 燐地区の岡保になります。かなり奥深い場所・・・ いわゆる氷平に風穴は存在しました。

新聞記事にもありました様に、風の入り口そして 蚕種を置いたと思われる場所が分かるぐらい良い 状態でした。そしてあの完成記念写真を重ね合わせ ながら、氷平風穴をじっくり見物いたしました。



職員募集中(介護・看護職員、パートタイマー)

アザレアンさなだのグループホーム(下原、真田、萩・曲尾、菅平)で 働きませんか? ご連絡をお待ちしています。

(電話)0268-72-2781 (有線)2111 担当 田中まで



🍇 真田町の社長さん 第12回

堀内工務店(有) 堀内 司 さん

今回は、堀内工務店(有)の社長様宅にお邪魔させていただきました。

優しいお母様と、明るい笑顔の素敵な社長さんに 出迎えていただき楽しく明るい場の中でお話を聞 かせていただきました。

設立は平成元年の10月1日ですが、先代のお父様から数えると45年になるそうです。

社員は4名、事務は奥様が担当されるそうです。 電気工事に付随した土木工事を営んでおられます。 「コンクリート、土を恥ずかしくない形に残したい。



お客様の要望に対して、誠心誠意にこたえて生きたい。」と熱く語ってくださいました。



機械を扱うので、安全には十分に考慮しながら お客様が満足したもの、結果が残せた時はとて も嬉しいそうです。また、一人ではできない仕 事なのでチームワークでみんなの技術を生か していくとおっしゃり、とても社員さんを大事 にされているんだなあと感じました。丁寧、誠 実をモットーに頑張られています。

辛いときは「歯を食いしばってやっていくしかない。満足いくようにすべてやっていく」

と語られ、社長の信念、強い思いを強く感じました。明るく笑い声が響く中、仕事の話は真剣に話してくださいました。温かい人柄、家族を感じました。次回は、矢島塗装社長 矢島 哲男さんです。お楽しみに。



真田包括だより



今回は、真田町のキラリと輝く人を特集しました。

取材にご協力いただいたのは、横沢にお住いの久保朝子さん(85)です。

真田地域包括支援センターは、久保さんが上田市の配食サービスを希望されたので、申込みの支援で関わりました。久保さんは朝夕毎日届く配食弁当を大変楽しみにされており、「届く楽しみ・見る楽しみ・食べる楽しみがあります。」「栄養たっぷりのお弁当です。」とにこやかにお話しされていました。

ご自宅を配食サービスの申込書の作成等で訪問した際に、飾られていた絵画や俳句が素晴らしかったので、作品の一部を紹介いたします。

まずは冬の日に思いをはせて作成した俳句です。

それぞれ、久保さんの気持ちや、見ている風景が目に浮かぶ俳句で す。作成のコツをお聞きしました。

久保さん: 俳句は、何気ない時にふと浮かぶので、作ろうと思って作れるものではないです。寝付けないときなどに、良い俳句を考え付いたりします。

い足 目にもしみるよ 雪の道

空

さ忘

れ

話す

ウォーキング 笑顔あいさつ 冬の空



次に、絵画を紹介します。70 歳頃に会社を退職され 家庭に入ってから、80 歳頃までの間に、色鉛筆や水 彩絵の具で、自己流で描いていたそうです。

西洋のお屋敷です。カラーでお見せできないのが残 念!!その場で描かれたような臨場感たっぷりの絵 ですね。



久保さん一押しの出世魚、ぶりの鉛筆画です。 力強いタッチです。



かわいいうぐいすの色鉛筆画です。もうすぐ春ですね。 次ページへ続く



傑作の鉛筆画を持ってニッコリ。 笑顔がステキな久保さんです。

取材をして・・・

久保さんは時間が空いた時に、何かできることはないかと考えて、絵や俳句を始めたそうです。ご自宅には、素敵な絵画が飾られており、まだまだ紹介したい作品が沢山あります。これからもお元気で、俳句など創作活動に励んでいただきたいです。これからも真田町でキラリと輝く方を追いかけていきたいと思います。

なお、配食サービスの詳細について聞きたい方は、真田地域包括支

援センターまでお問 い合わせください。

真田包括支援センターは、 高齢者の生活を支える総合窓口です。 272-8055 有線 2080 (総合福祉センター内 社会福祉協議会)

≪インフォメーション≫

②+◎+③+②+ お友達募集 ②+◎+③+②+

子育てサークル「どんぐりの会」では、平成26年度の新入会員を募集しています。真田町を拠点に、親子のスキンシップ、季節の行事、外遊び、手遊びなど0歳から3歳までのお子さんが楽しめるような会を計画しています。子供同士、親同士、交流を深めつつ一緒に楽しみませんか?

年度途中の入会も大歓迎ですので、お気軽にお問い合わせください♪

活動日•回数 毎月 1~2回(年間 15回)

主な活動場所 真田保健センター

会費 年間 1,500 円 (途中入会の場合 1 回 100 円)

2 人目以降半額

保険料 子ども1人800円(年間)

問合せ 金子 恵 090-3330-1167

gold5meg@docomo.ne.jp

編集後記

- ●温かく出迎えてくださった堀内工務店の皆様、ありがとうございました。(飯田)
- ●若林さんには2回にわたり取材をしていただき、本当にありがとうございました。

(五十嵐)

発行元:「真田 活き活きふるさと通信」編集部 事務局:高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内 〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 有線 2111

TEL 0268-72-2781 FAX 0268-61-4010 E-mail keijinfukushi@azarean.jp

ホームページ http://www.azarean.jp

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。次号は 2014 年 6 月 1 日の発行です。